System-V・LX

ページプリンタ
手引き書
～NPP860･802・800～

（０１．８）

【取扱説明書】

株式会社 タテムラ

目　次

使用上の注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

トナーカートリッジの交換方法　－ NPP802　・・・・・・・・・・・・・　３
－ NPP800　・・・・・・・・・・・・・　６

清掃方法　－ NPP802　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
－ NPP800　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

紙づまりの処理方法　－ NPP802　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
－ NPP800　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７

ページプリンタに送信されたデータの消し方(リセット方法)・・　２０

出力を途中で止める方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

印字カウンタの確認方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

印字カウンタのクリア方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

ページプリンタにおける縮小印刷方法　－ NPP802　・・・・・・・・・　２３
～Ｂ４出力をＡ４へ～　　－ NPP800　・・・・・・・・・　２４

ページプリンタ印字位置変更方法　－ NPP802　・・・・・・・・・・・　２５
－ NPP800　・・・・・・・・・・・　２７

手差しガイドからの印刷方法　－ NPP802　・・・・・・・・・・・・・・・　２９
－ NPP800　・・・・・・・・・・・・・・・　３１

引き出し(ホッパ)用紙サイズ変更方法　－ NPP802　・・・・・・・・・　３３
－ NPP800　・・・・・・・・・　３５

使用上の注意

● 紙に関する注意

<table>
<tr><td colspan="2">用紙は、それぞれ正しい紙を使用して下さい。

Ｂ５･･･縦目（Ｔ目）　Ｂ４･･･横目（Ｙ目）
Ａ４･･･縦目（Ｔ目）　Ａ３･･･横目（Ｙ目）
ページプリンタ対応用紙があります。</td><td>紙づまりの原因になります。

縦目・横目がよく解らない時には、ページプリンタ対応用紙を使用して下さい。</td></tr>
<tr><td>NPP802
NPP800</td><td>紙をホッパに入れる際には、さばかずそのままセットして下さい。</td><td>さばいた場合、静電気により紙が２枚重なって出る場合があります。
元帳用紙の場合、穴に紙くずが入っていないか確認して下さい。トナーを痛める場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">裏紙は使用しないで下さい。
（一度熱を通した紙含む）</td><td>熱を通す事で紙質が変化し、紙送りが正常にされず紙づまりを起こす場合があります。
紙づまりをした紙は、ドラムを傷付ける場合があります。
裏面印刷されている紙(裏紙)を使用すると、トナーが熱で溶け、定着ユニットに張り付く可能性があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">薄い紙は使用出来ません。
（税務署から送付されてくる官製用紙など）

※ OCR用紙の１枚目は使用可能</td><td>紙づまりの可能性がかなり高くなります。
紙がよれてしまい、正常に紙送りされず、紙づまりします。
定着ユニットに紙が巻き込まれる可能性があり、用紙除去が困難になります。(サービスマン派遣になります。)</td></tr>
</table>

● トナーに関する注意

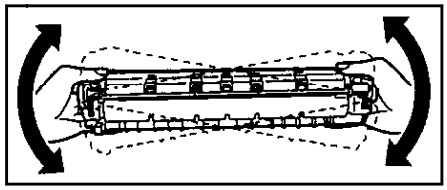
新しいトナーよりテープを引き抜く作業の前に、必ずよくトナーカートリッジを振って下さい。	テープ切れの原因になります。 テープ切れを起こすと、正常に印字ができなくなる可能性があります。
トナーを装着する際、ドラムカバーを持ち上げてセットして下さい。	ドラムカバーの左にあるピンが折れることがあります。ピンが折れると、紙づまりの原因になります。
トナーを取り外した際、ドラムには触れないようにして下さい。 ※　ドラム・・・トナーに付いている緑色の円筒系の装置	ドラムに傷が付くと、印刷をした際に線がでる場合があります。 ドラムの傷は修復不能です。丁寧に扱って下さい。 直射日光、蛍光灯の光に当てないようにして下さい。

● その他

ホッパは静かに閉めて下さい。	勢いよくホッパを閉めると、ホッパ内のセンサーが折れてしまう場合があります。 ホッパ内のセンサーが折れると、正常に紙を感知できなくなり、印字に不都合がでます。

トナーカートリッジ交換方法 (NPP802)

● 交換する前に

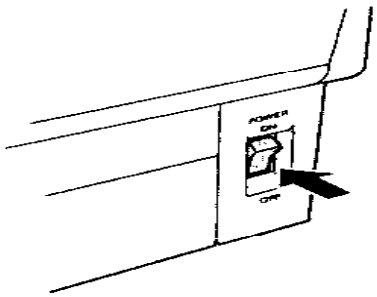


ディスプレイに”７６　トナーナシ ＥＰコウカン”と表示され、トナーランプが赤く点灯したら、トナーの交換時期です。
印字可のランプを押しますと、しばらく出力できます。
又、図の様に振っていただくと、しばらくの間、
トナーが使用できる場合があります。

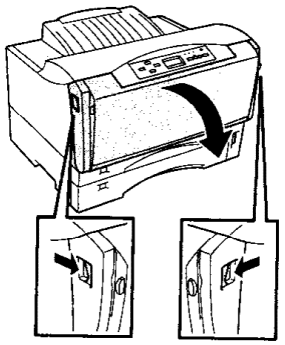
※ トナーランプが点灯していない状態で印字が薄い場合、トナーが中で固まっていることがありますので、同じように軽く振って下さい。

● トナーの交換方法

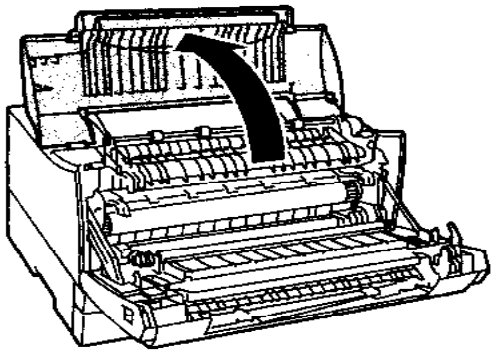
1. 電源スイッチをＯＦＦにします。



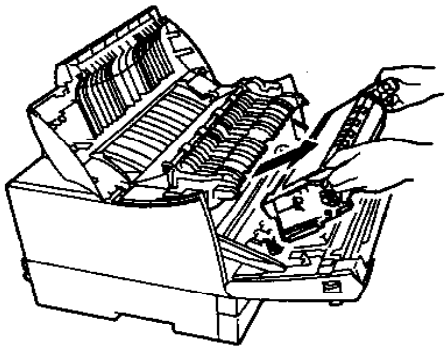
2. 左右の開閉レバーを引いて、フロントカバーをゆっくり開けます。



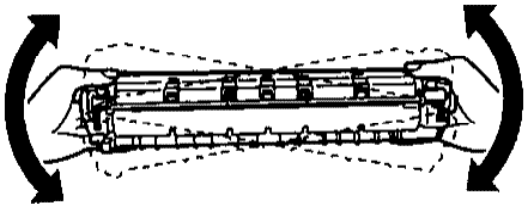
3. トップカバーを開けます。



4. 使い終わったトナーを取り出します。

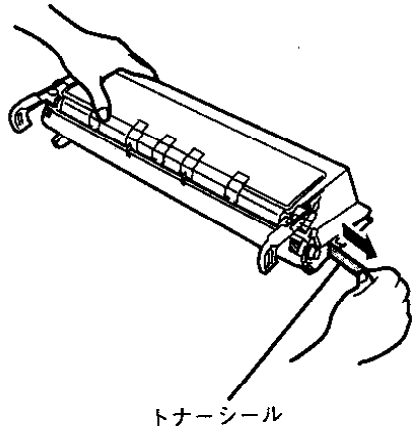


5. 新しいトナーを１０回程度、図のように振ります。



トナーの緑色のドラムには、絶対に触れないようにして下さい。

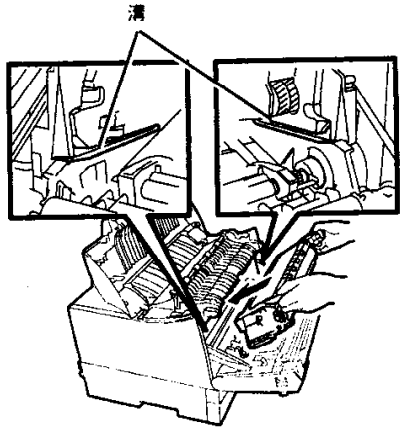
6. トナーを平らな場所に置き、側面に止められているトナーシールを抜き取ります。



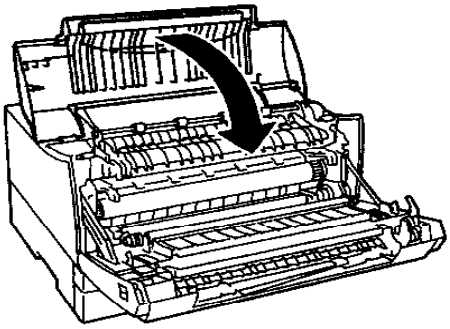
※ 注意 ※

トナーシールは、まっすぐ引き抜いて下さい。
斜めに引くと、途中で切れる恐れがあります。
引き抜いたﾄﾅｰｼｰﾙの長さは､約70cmになります。
途中でビニールが切れてしまった場合、トナーが使用できなくなる場合がありますので、慎重に作業を進めて下さい。
テープが切れてしまいそうな時はご連絡下さい。
（切ってしまった場合は交換不可）

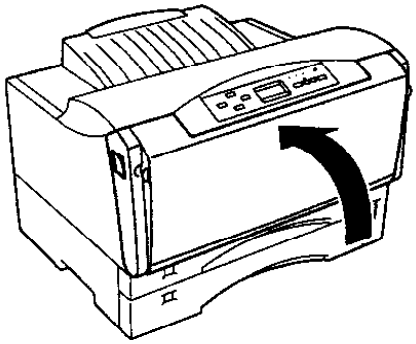
7. トナーをセットします。



8. トップカバーを閉めます。

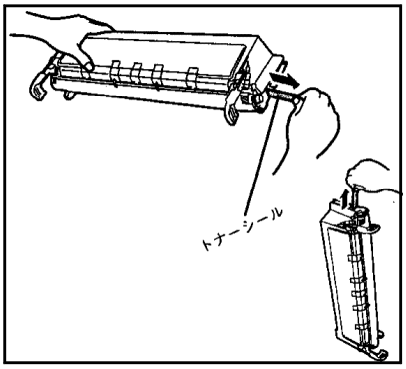


9. フロントカバーを閉めます。

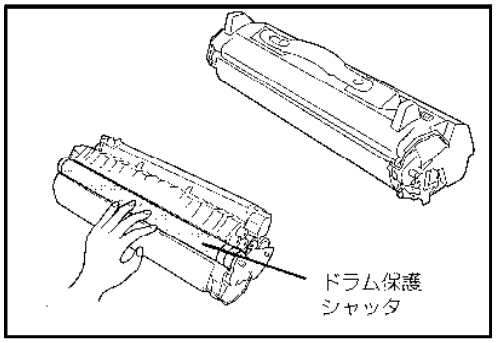


トナーの注意

● トナーを縦にしてトナーシールを引き抜かないようにして下さい。
抜けなくなってしまいます。



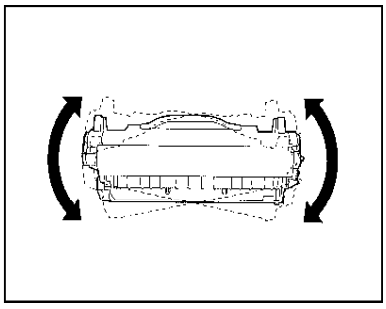
● ドラムシャッターは触ったり拭いたりしないで下さい。
ドラムに傷が付き線がでてしまいます。



トナーカートリッジ交換方法　(NPP800)

● 交換する前に

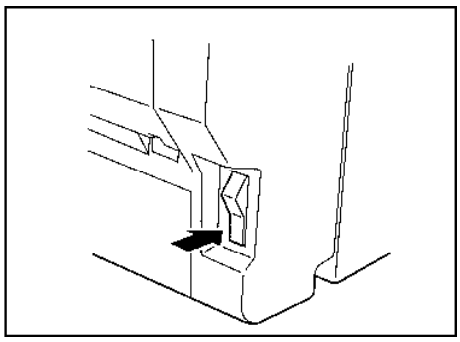
ディスプレイに”７６　トナーナシ”と表示
され、トナーランプが赤く点灯したら、トナー
の交換時期です。
印字可のランプを押しますと、しばらく出力できます。
又、図の用に振っていただくと、しばらくの間、
トナーが使用できる場合があります。



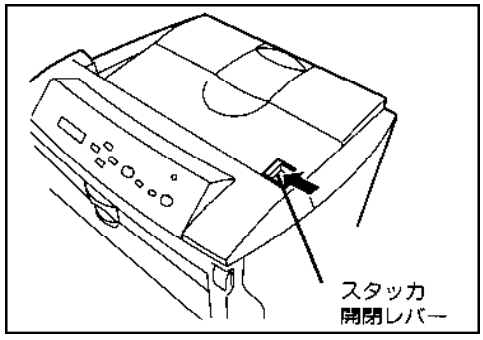
※トナーランプが点灯していない状態で、印字が薄い場合、同じように軽く振って下さい。

● トナーの交換方法

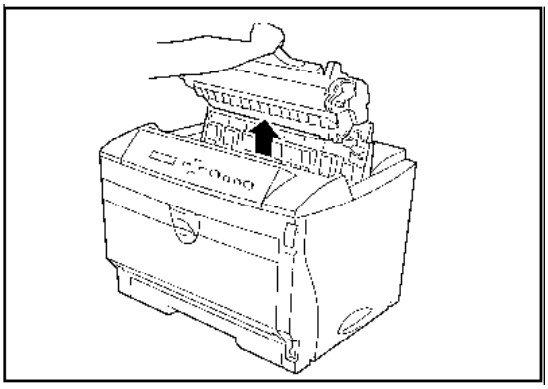
1. 電源スイッチをＯＦＦにします。



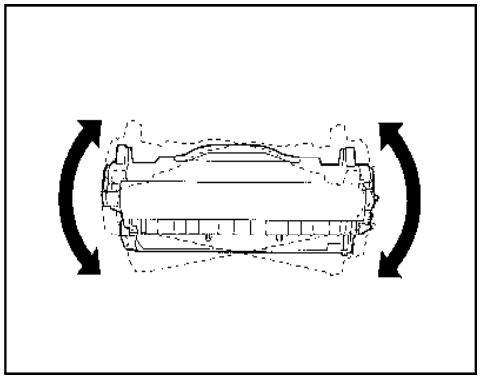
2. 開閉レバーを引いて、上部ユニットを
ゆっくり開けます。



3. 使い終わったトナーを取り出します。

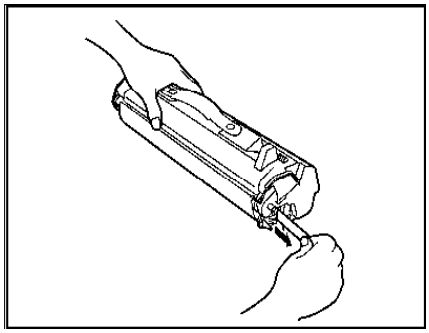


4. 新しいトナーを１０回程度、図のように
振ります。



トナーの緑色のドラムには、絶対に触
れないようにして下さい。

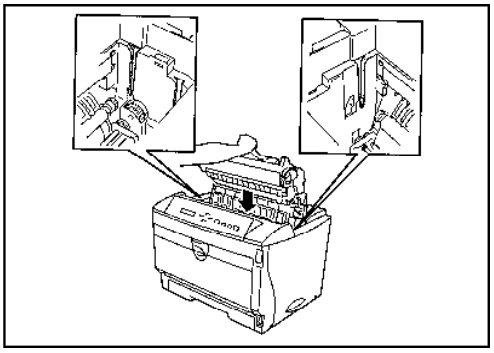
5. トナーを平らな場所へ置き、側面に止められているビニールシールを抜き取ります。



※ 注意 ※

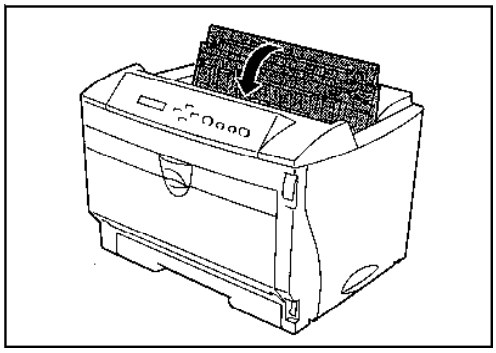
ビニールシールは、まっすぐ引き抜いて下さい。
斜めに引くと、途中で切れる恐れがあります。
引き抜いたﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾙの長さは､約60cmになります｡途中でビニールが切れてしまった場合、トナーが使用できなくなる場合がありますので、慎重に作業を進めて下さい。
テープが切れてしまいそうな時は、ご連絡下さい。(切ってしまった場合は交換不可)

6. トナーをセットします。



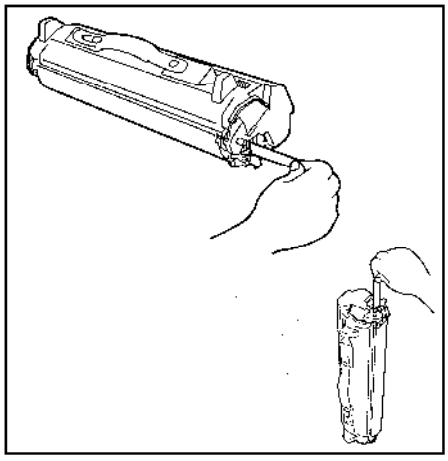
トナーと本体の矢印が合うようにセットします。

7. 上部ユニットを閉めます。

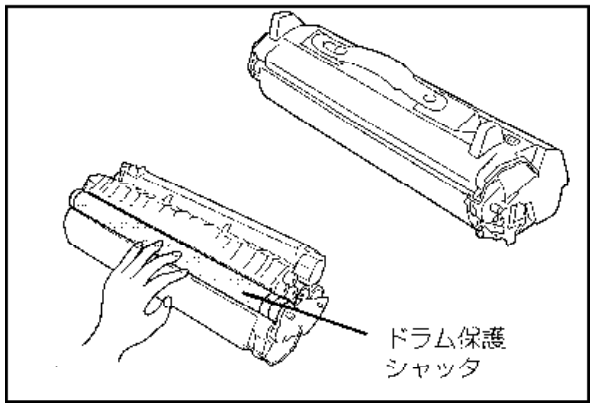


トナーの注意

● トナーを縦にしてビニールシールを引き抜かないようにして下さい。
抜けなくなってしまいます。

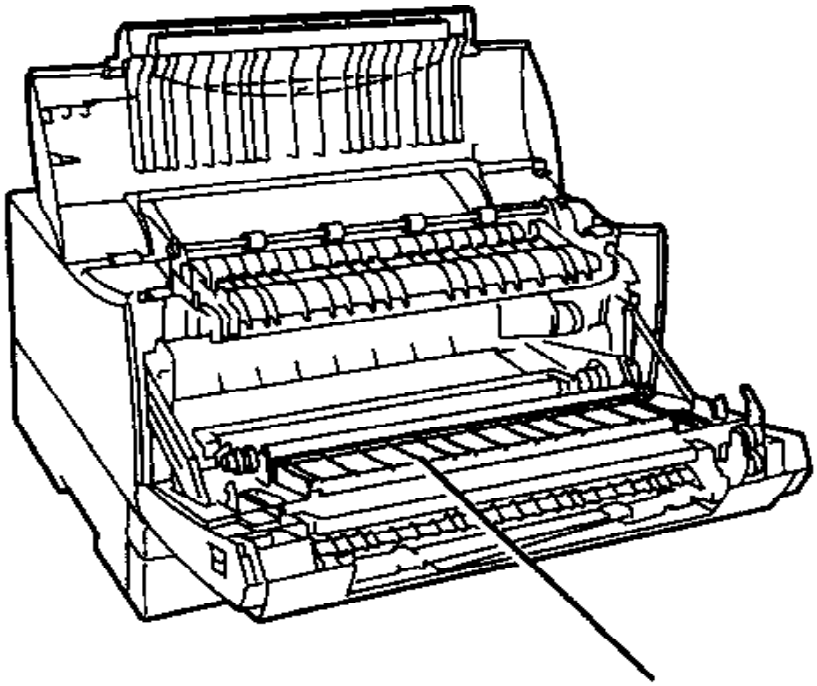


● ドラムシャッターは触ったり拭いたりしないで下さい。
ドラムに傷が付き線がでてしまいます。



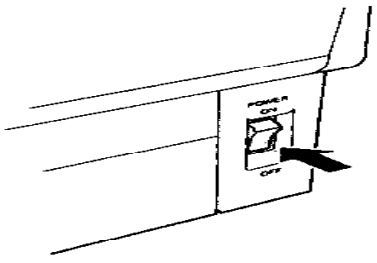
ページプリンタは、**最低１ヶ月に１回**清掃をして下さい。
トラブルを防ぐ為に必要です！
清掃を行うことによって、**トナーの寿命も長くなります**。

● 清掃箇所と清掃時期

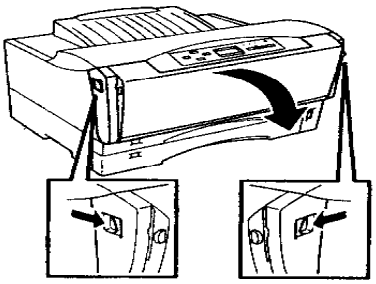


リブプレート
● 1か月に1回
● 用紙に汚れが現れるとき

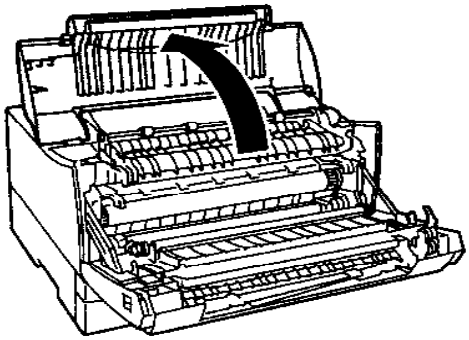
1．電源スイッチをＯＦＦにします。



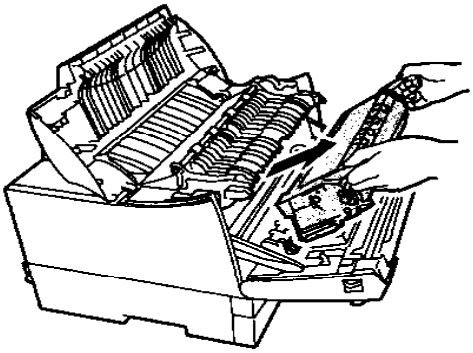
2．フロントカバーを開けます。



3．トップカバーを開けます。

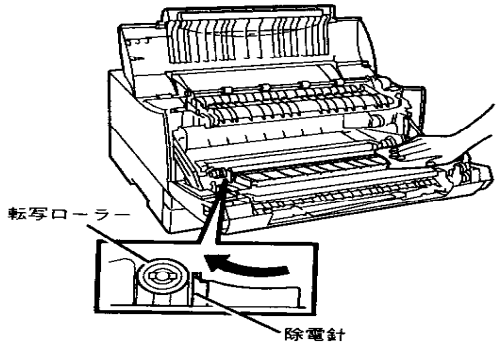


4．トナーを取り外します。
トナーは水平に置いて下さい。

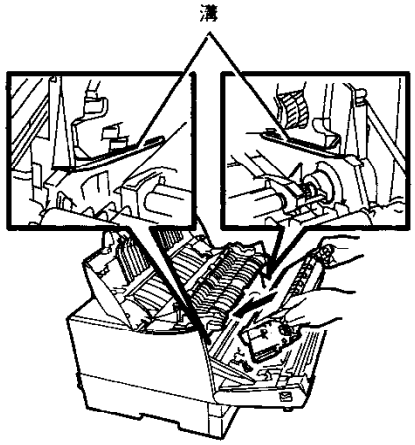


5．リブプレートを柔らかい布で拭き取ります。

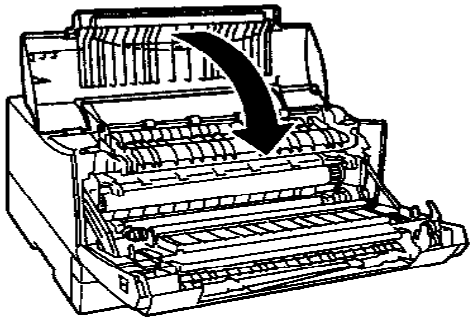
※転写ローラ・除電針には触らないで下さい。



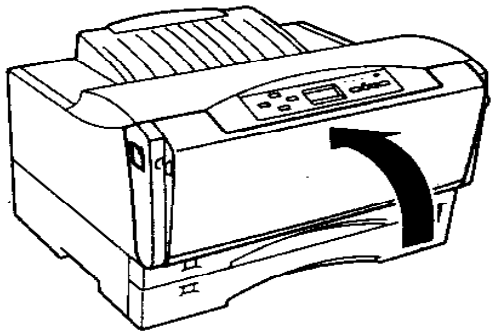
6．トナーを取り付けます。



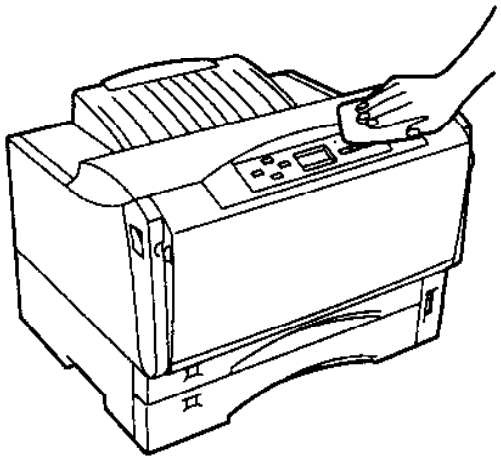
7．トップカバーを閉じます。



8．フロントカバーを閉じます。



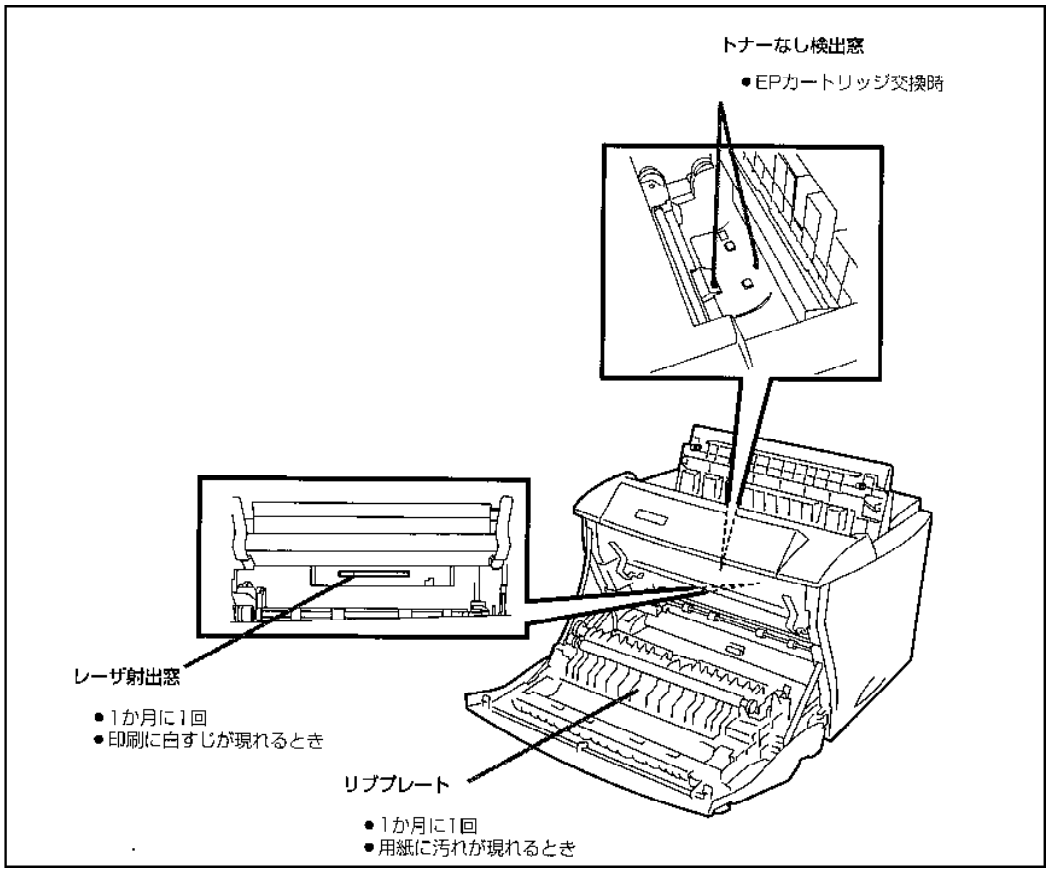
9．外観の汚れは柔らかい布で拭き取ります。



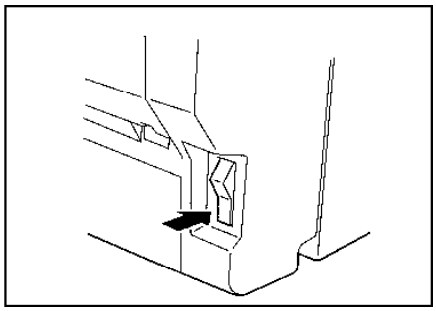
以上で清掃方法は終了となります。詳しくはユーザーズマニュアルをご確認下さい。

ページプリンタは、**最低１ヶ月に１回**清掃をして下さい。
トラブルを防ぐ為に必要です！
清掃を行うことによって、**トナーの寿命も長くなります**。

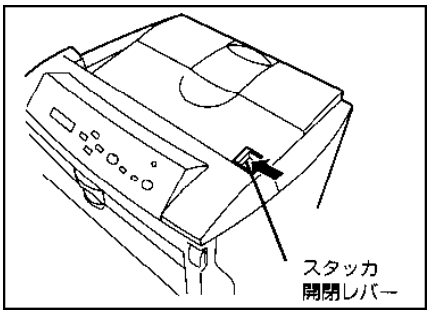
● 清掃箇所と清掃時期

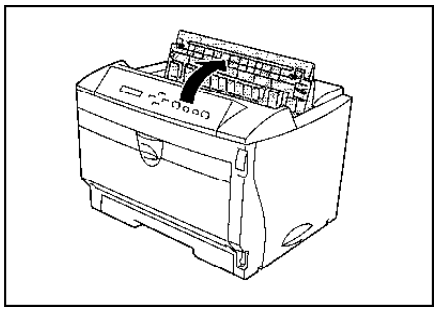


1．電源スイッチをＯＦＦにします。

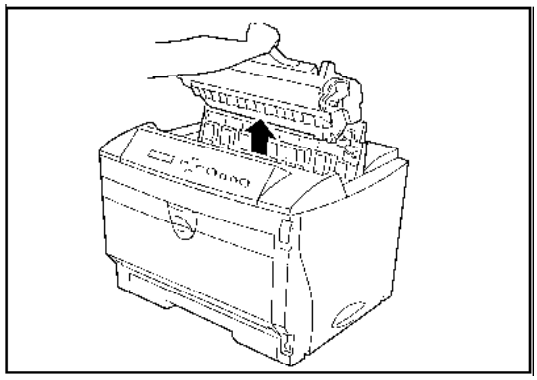


2．上部のフタを開けます。

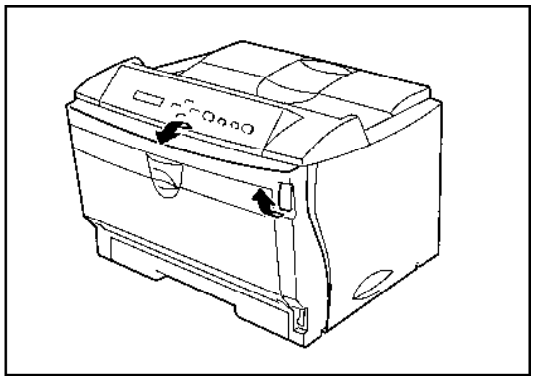




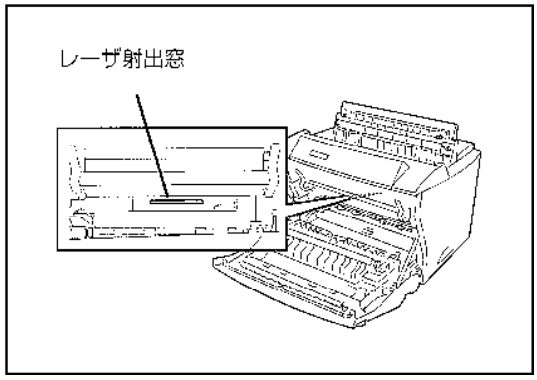
3．トナーを取り外します。
トナーは水平に置いて下さい。



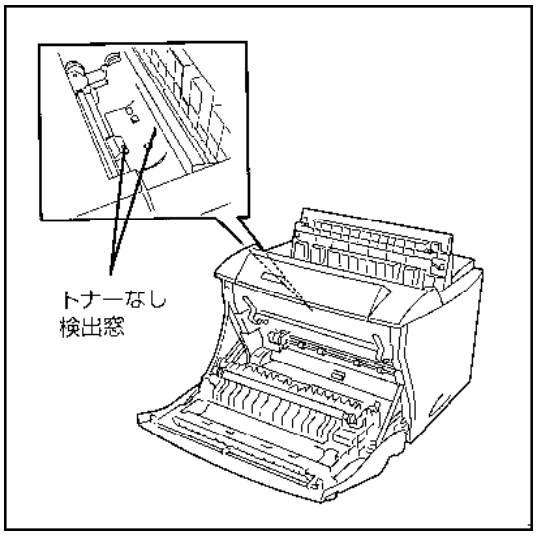
4．フロントカバーを開けます。



5．レーザー射出窓を柔らかい布で
拭きます。

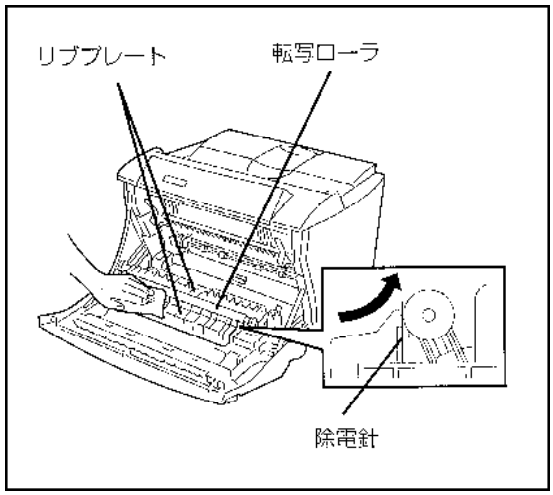


6．トナーなし検出窓を柔らかい布で
拭きます。

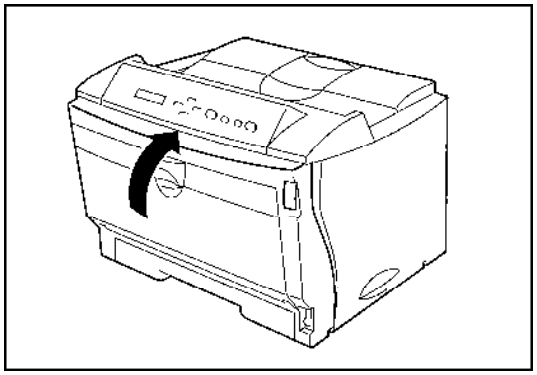


7．リブプレートを柔らかい布で拭き取ります。

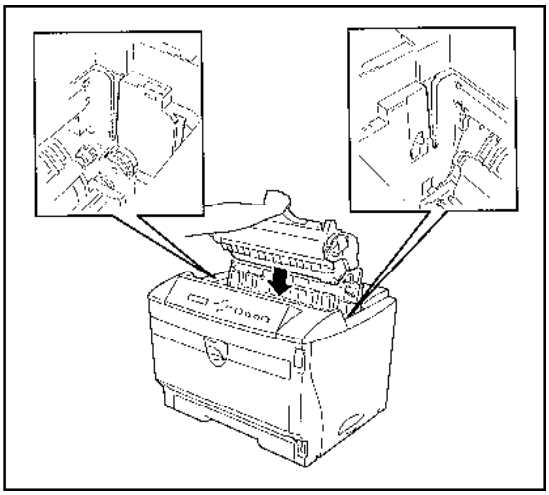
※転写ローラ・除電針には触らないで
下さい。



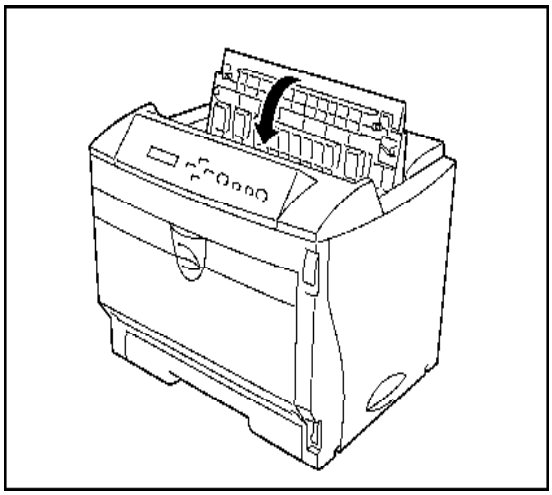
8．フロントカバーを閉じます。



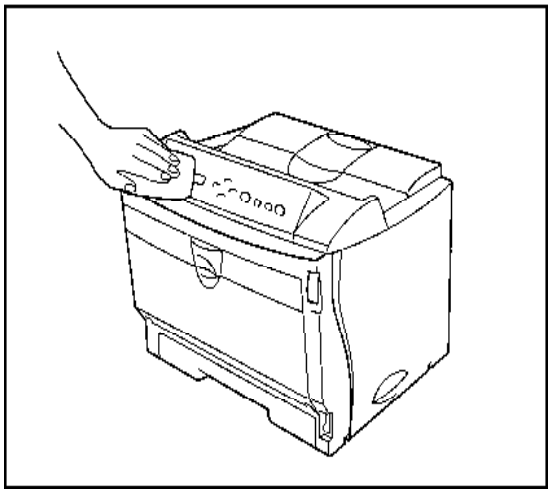
9. トナーを取り付けます。



10. 上部のふたを閉じます。



11. 外観の汚れは柔らかい布で拭き取ります。



以上で清掃方法は終了となります。詳しくはユーザーズマニュアルをご確認下さい。

紙づまり処理方法　(NPP802)

● 紙づまりが発生すると、”ピピッ”とアラームが鳴り、印刷可(赤)ランプが点滅します。同時に、プリンタが止まり、液晶ディスプレイに”74 カミヅマリ ホンタイ リョウメン キュウシ”と表示されます。

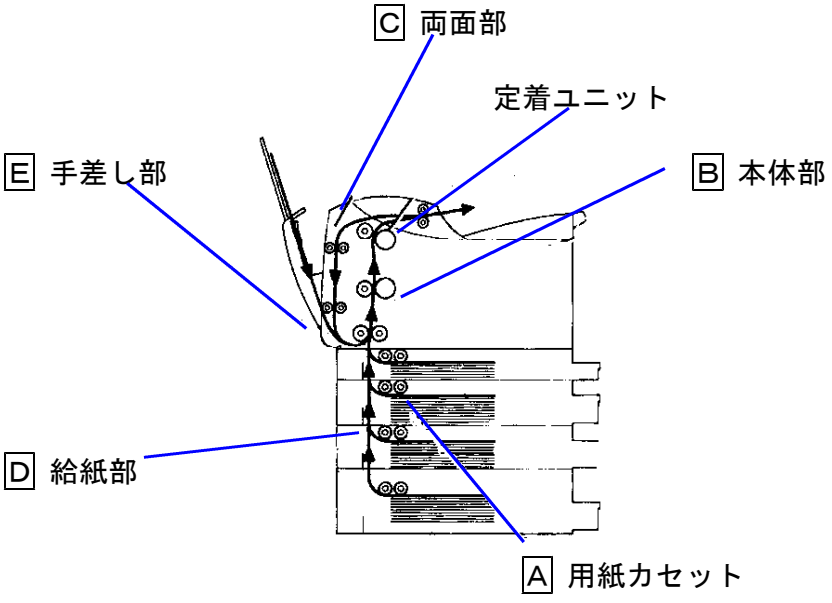
注意 ！！

つまった紙は、無理に引き抜かないで下さい。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片が、プリンタの正しい用紙送りを妨げることがあります。
また、電源ＯＮのままで行って下さい。

紙づまりの処理方法
パネルに表示されたエラーによりつまっている箇所が違います。各エラー内容を確認し紙づまりの位置を確認して下さい。

″ホンタイ″　･･･ B　本体部、又はE 手差し部で紙づまりしています。
″リョウメン″ ･･･ C　両面部で紙づまりしています。
″キュウシ″　･･･ D　給紙部　で紙づまりしています。

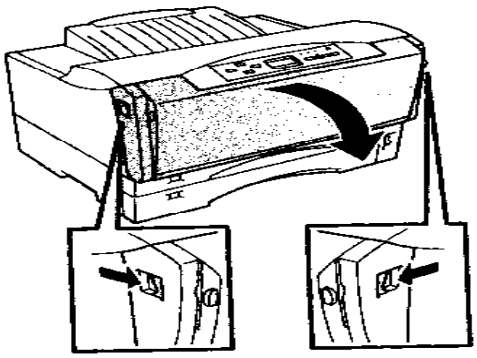
下図のAからEに紙づまりが考えられます。



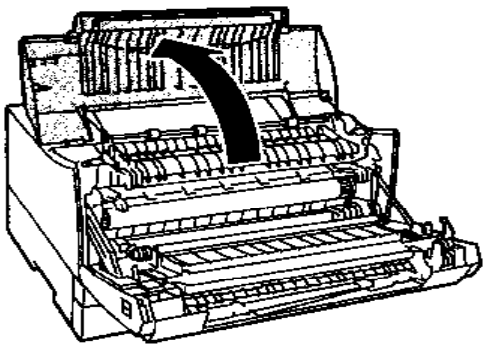
B本体部、又はE手差し部で紙づまりした場合

B本体部

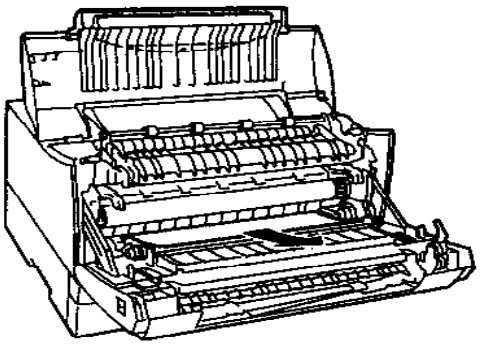
1．フロントカバーを開けます。



2．トップカバーを開けます。



3．用紙をゆっくり引き抜きます。



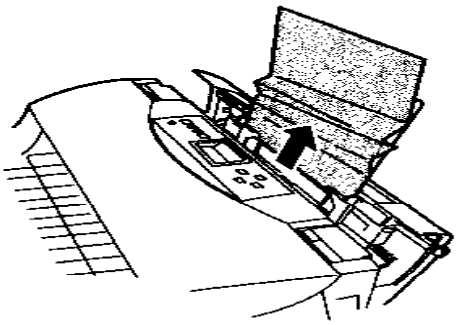
※ 用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いて下さい。

※ 注意 定着ユニット周辺は高温になっていますので、充分注意して下さい。

※もし、用紙が見つからない場合はトナーを抜いて奥の方も確認して下さい。

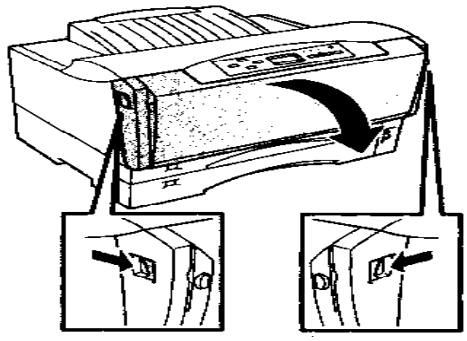
E手差し部

吸入されなかった用紙を取り除きます。

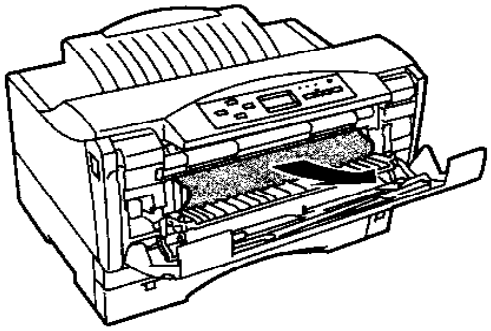


C両面部で紙づまりした場合

1．フロントカバーを開けます。

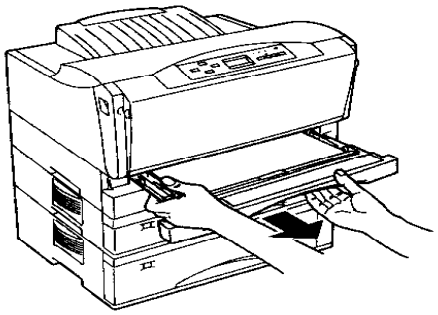


2．つまった用紙をゆっくり手前に引き抜きます。

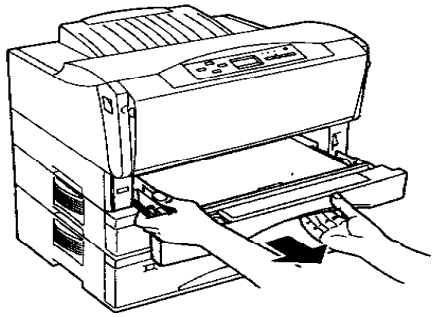


D給紙部で紙づまりした場合

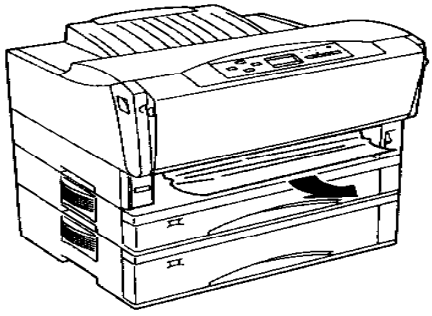
1．MPを取り外します。



2．1段目のホッパを取り外します。

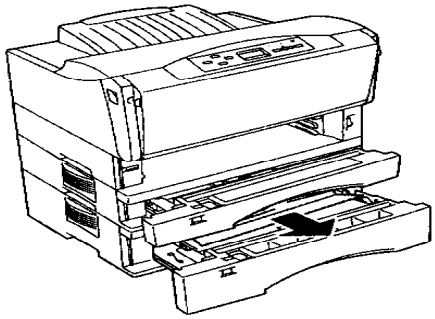


3．つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



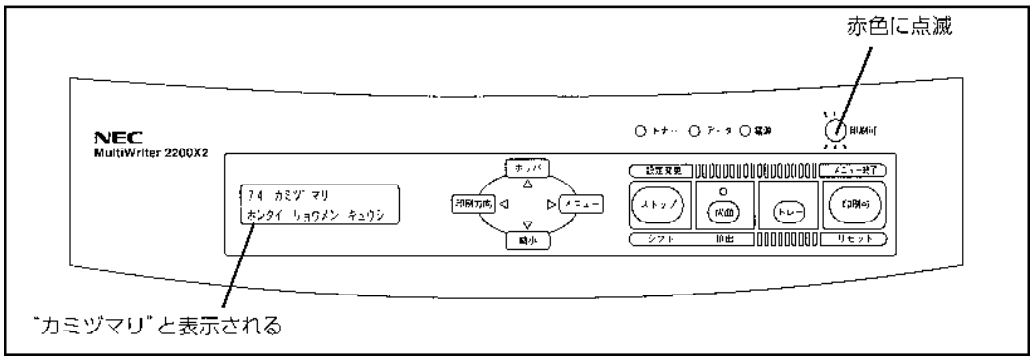
※増設ホッパがある場合

他のホッパに用紙がつまっている可能性がありますので、他のホッパも調べて下さい。



紙づまり処理方法　(NPP800)

● 紙づまりが発生すると、”ピピッ”とアラームが鳴り、印刷可(赤)ランプが点滅します。同時に、プリンタが止まり、液晶ディスプレイに”74 カミヅマリ ホンタイ リョウメン キュウシ”と表示されます。



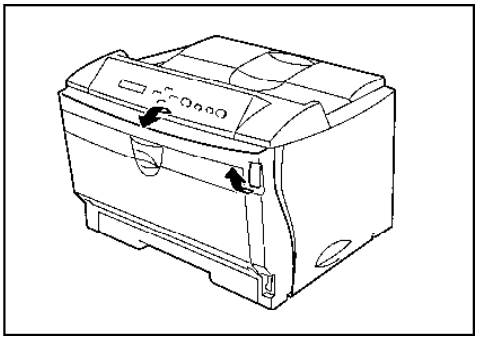
注意 ！！

つまった紙は、無理に引き抜かないで下さい。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片が、プリンタの正しい用紙送りを妨げることがあります。

紙づまりの処理方法
パネルに表示されたエラーによりつまっている箇所が違います。各エラー内容を確認し、紙づまりの位置を確認して下さい。

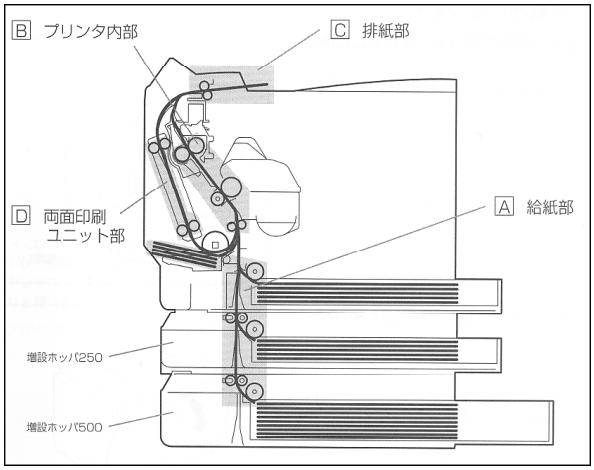
″ホンタイ″　･･･ B プリンタ内部又はCの排出部　で紙づまりしています。
″リョウメン″･･･ D 両面印刷ユニット(オプションになります)　で紙つまりしています。
″キュウシ″　･･･ A 給紙部　で紙づまりしています。

1. フロント開閉レバーを手前に引いて、ロックを外します。



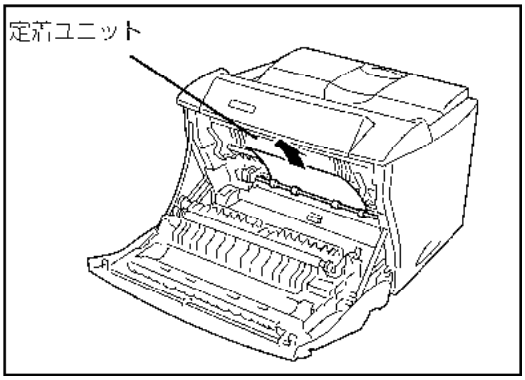
2. つまった紙の位置を確認して下さい。

ＡからＤに紙づまりすると考えられます。



3. A B ホッパ給紙又はプリンタ内部で紙づまりした場合

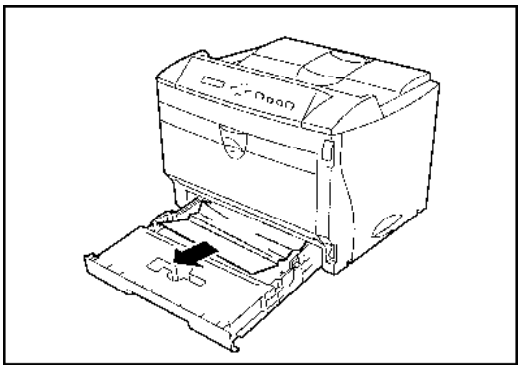
● フロントカバーを開け、つまった紙をゆっくり引き抜きます。



※ 用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いて下さい。

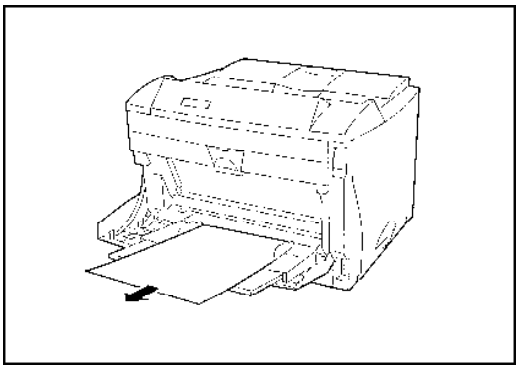
※ 注意 定着ユニット周辺は高温になっていますので、充分注意して下さい。

● 用紙カセット内でつまっている場合は、用紙カセットを静かに引き出し、つまった用紙を取り除きます。

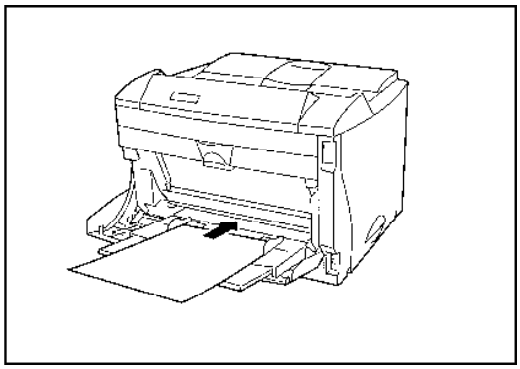


4. A トレー給紙で紙づまりが発生した場合

● トレーにセットしてある用紙を取り除きます。

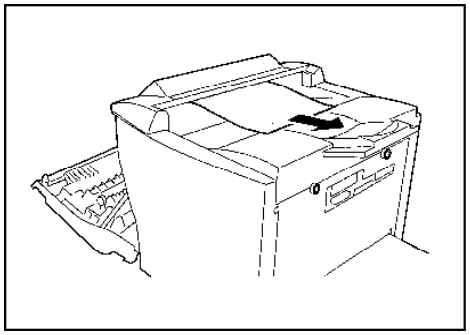


● トレーに用紙をセットし直します。



6. C 排出部の紙づまりの場合

● 排出口より、用紙をゆっくり引き抜きます。

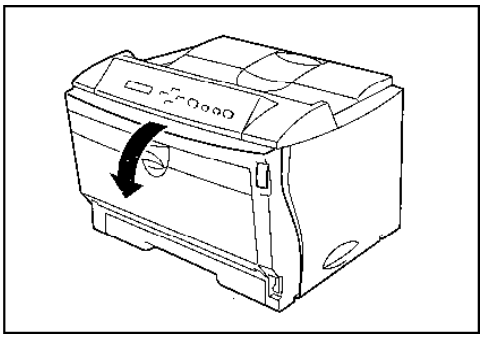


※ 注意 定着ユニット周辺は高温になっています。充分注意して下さい。

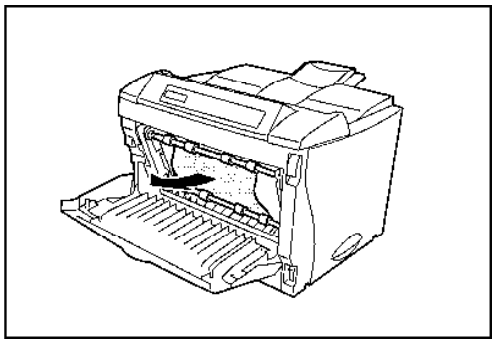
※ 両面印刷のユニットはオプションになります。
通常はねじ止めされているので開きません。

7. D 両面印刷ユニット部の紙づまりの場合

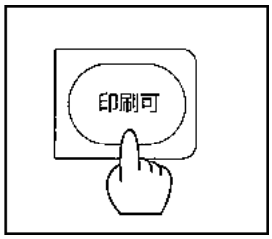
●両面印刷カバーを開きます。



● つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き抜きます。

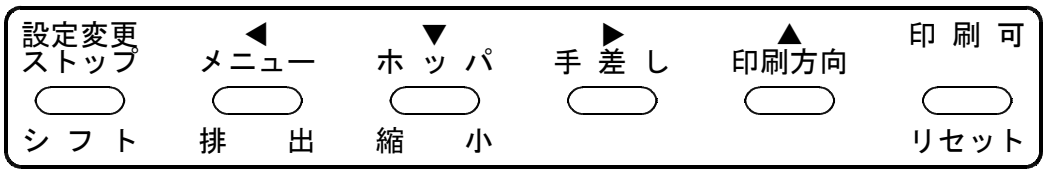


8. すべてのカバーを閉めて印刷可を押します。



ページプリンタに送信されたデータの消し方（リセット方法）

プリンタパネル



プリンタ本体の液晶に「データガノコッテイマス」と表示され、”データ”の所にオレンジ色のランプが点滅している場合、この作業を行って下さい。

1．**シフト** を押しながら **リセット** を２回押し、**シフト** を離します。

2．**“リセット ジッコウ”** と表示され、**“ピピッ”**と音がなります。

“データ”ランプのオレンジ色の点滅が消えれば作業は終了です。
ランプが消えない場合、１．２．の操作を繰り返して下さい。

ページ出力を途中で止める方法

必要ないものを印字している場合、この作業をして下さい。

1．**ストップ** を押します。（プリンタパネルのいちばん左にあります。）
印刷可のランプが消え、１～２枚の紙が排出され止まります。

2．財務及び販売管理のデータを出力している場合は、コンピュータ本体の **BRAKE** ｷｰを押します。
BRAKEｷｰがない機種は、**ＣＴＲＬ を押しながら、C** ボタンを押します。
画面が、メニュー画面に戻るのを確認します。

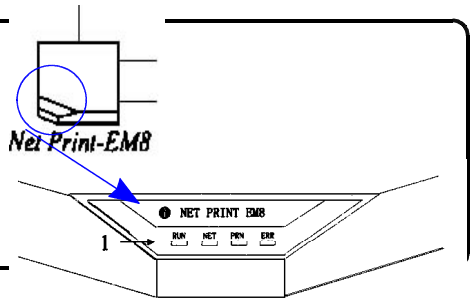
※Windowsの場合は、「Windowsにおいて、印刷ジョブのクリア又は印刷ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄの削除」を選択して下さい。

3．プリンタの電源を切るか、プリンタの **リセット** を数回かけます。
電源を切ったプリンタは、約２０秒後電源をいれます。

プリンタパネルの **データ** の所のオレンジ色のランプが消え、コンピュータ本体で作業ができれば終了です。

データ にオレンジのランプが点滅している場合、リセット を数回かけて下さい。

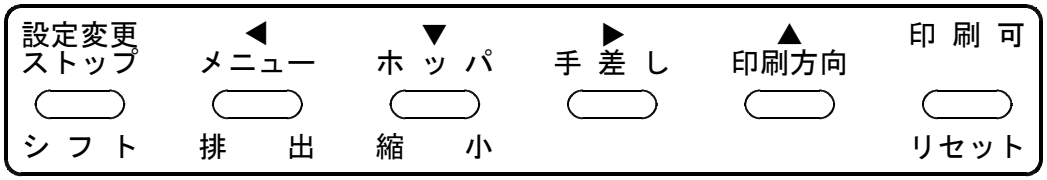
プリンタ切換機（ＥＭ-８）が接続されている場合
プリンタの切替機が接続されている場合は、2.の作業を行った後、プリンタ切換機のDC-INのｺｰﾄﾞを一端抜き、差し込んで下さい。しばらくしますと、ＲＵＮのみにランプが付きます。ＰＲＮにランプがついている場合はDC-INのｺｰﾄﾞを再度、抜き差しして下さい。



印字カウンタの確認方法

プリンタの印刷枚数を確認します。今までの印刷枚数がわかります。

プリンタパネル



1. **シフト** を押しながら **リセット** を２回押し、**メニュー** を押します。
2. “**プリンタモデル**” と表示されます。
3. ▼ を３回押します。
4. “**ホシュヨウ　カウンタ**　”と表示されます。
   表示されない場合は、出てくるまで ▼ を押して下さい。
5. ▶ を１回押します。
6. “数字”が表示されます。これが今まで印刷した枚数です。
   この枚数を、トナー交換時に控えておいて下さい。
   （紙に書き、トナーに貼っておくことをおすすめします。）
7. **印刷可** を押します。

指定がよくわからなくなってしまった場合

印刷可 のボタンを押し、最初からやり直して下さい。

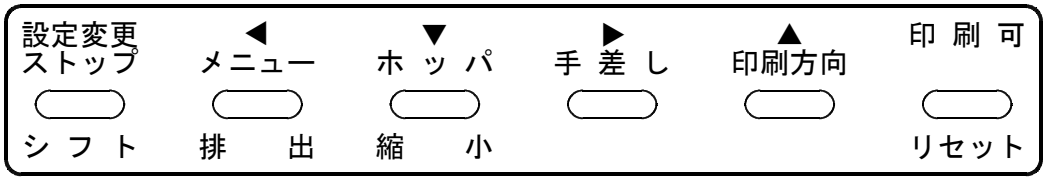
その他

プリンタの印字は、Ａ４サイズ用紙一約6,000枚が目安になっています。
ただし、罫線や網がけをよく使用する場合・古いトナーを使用する場合には、この限りではありません。

印字カウンタのクリア方法

プリンタの印刷枚数を0にします。

プリンタパネル



1．**シフト** を押しながら **リセット** を２回押し、**メニュー** を押します。

2．“**プリンタモデル**” と表示されます。

3．▼ を６回押します。

4．“**ホシュヨウ　カウンタ　クリア**”と表示されます。
表示されない場合は、出てくるまで ▼ を押して下さい。

5．▶ を２回押します。

6．“ピピッ”と音がし 印刷可 のランプが点灯すれば、カウンタクリアが終了します。

7．**印刷可** を押します。

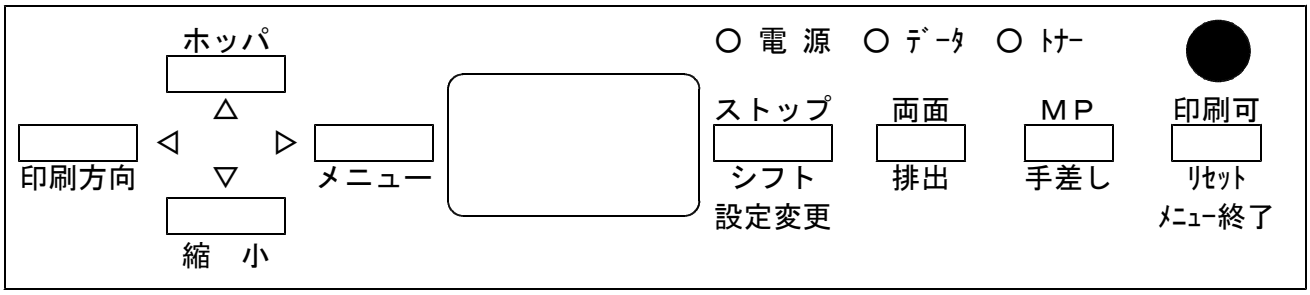
指定がよくわからなくなってしまった場合

印刷可 のボタンを押し、最初からやり直して下さい。

ページプリンタにおける縮小印刷方法 ～Ｂ４出力をＡ４へ～ （ホッパのみ対応） (NPP802)

ページプリンタでは、用紙のサイズを変更して印刷することが可能です。
例として、「Ｂ４をＡ４へ」縮小印刷する方法を説明します。
※ＭＰからの給紙では、縮小印刷ができません。

＜オペパネと操作＞



1. プリンタの電源を切ります。

2. ページプリンタの「**Ｂ４がセットされているホッパ（引出し）**」を抜きます。

3. プリンタの電源を入れます。

4. **印刷可** を押し、ランプを消します。

5. **ホッパ（▲）**を押し、表示を**「ホッパー１又は２　Ａ４ヨコ ポート」**に変更します。
（Ａ４が入っている引出しを指定します。）

6. **印刷可** を押し、ランプをつけます。

7. プリントの指示を出します。**「Ｂ４→Ａ４」**と表示され、出力を開始します。

※ もしも、**「ホッパ　Ｂ４セット」**と表示されましたら、**印刷可** を押して下さい。
「Ｂ４→Ａ４」と表示され印字を開始します。

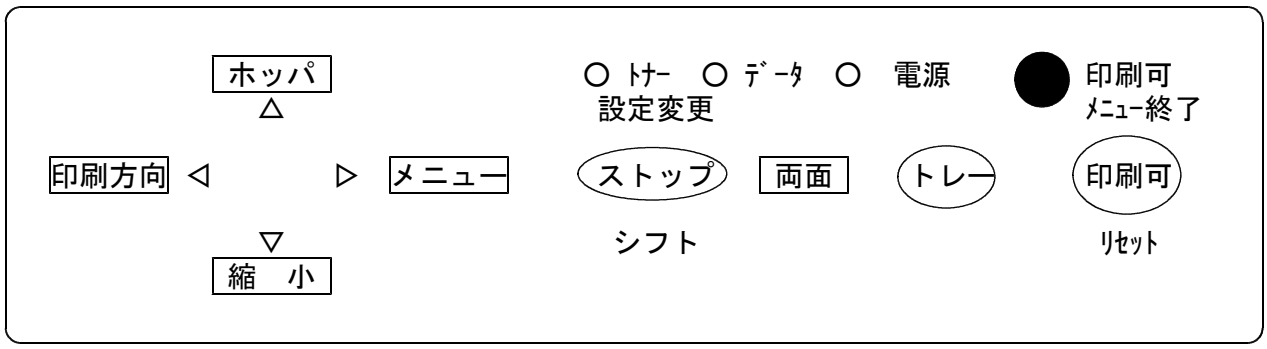
指定がよくわからなくなってしまった場合

プリンタの電源を切り、最初からやり直して下さい。
又は、
シフトを押しながら、リセットを２回押すと、最初からやり直すことができます。

ページプリンタにおける縮小印刷方法 ～Ｂ４出力をＡ４へ～　(NPP800)

ページプリンタでは、用紙のサイズを変更して印刷することが可能です。
例として、「Ｂ４をＡ４へ」縮小印刷する方法を説明します。

＜オペパネと操作＞



１．プリンタの電源を切ります。

２．ページプリンタの「**３段目のホッパー（Ｂ４がセットされている引出し）**」を抜きます。

３．プリンタの電源を入れます。

４．**印刷可** を押し、ランプを消します。

５．**ホッパ**（△） を押し、表示を**「ホッパー１又は２　Ａ４ポート」**に変更します。
（Ａ４が入っている引出しを指定します。）

６．**印刷可** を押し、ランプをつけます。

７．プリントの指示を出します。**「Ｂ４→Ａ４」**と表示され、出力を開始します。

※ もしも、**「ホッパー３　Ｂ４セット」**と表示されましたら、**印刷可** を押して下さい。
「Ｂ４→Ａ４」と表示され印字を開始します。

指定がよくわからなくなってしまった場合

プリンタの電源を切り、最初からやり直して下さい。
又は、
シフト を押しながら、リセット を２回押すと、最初からやり直すことができます。

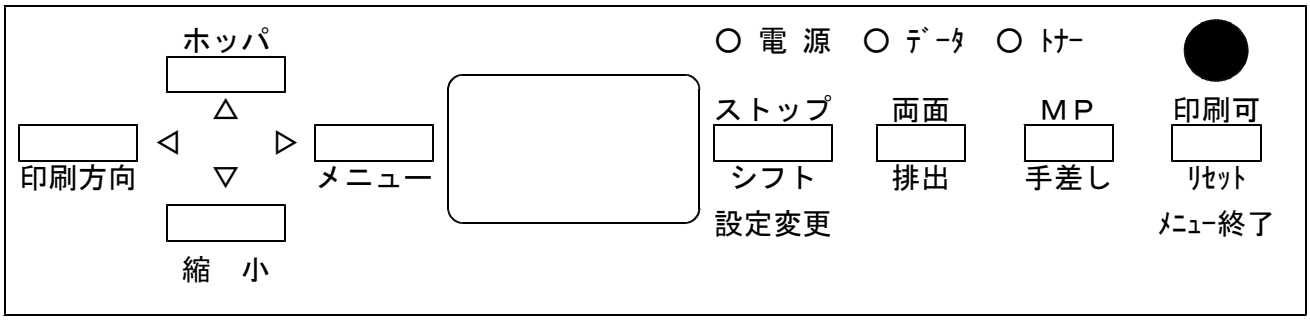
ページプリンタ印字位置変更方法　(NPP802)

● 概要

元帳やその他の用紙の打ち出しの際印字ズレなどを調整する場合は下記の手順で印字位置を変更することができます。
印字位置を変える場合は、どの引き出し(ホッパ及びＭＰ）の印字をずらすのかを設定します。
それぞれの引き出しに対して一段一段設定しなければなりませんのでご注意下さい。
(手差し印刷位置変更可能)

※ 引き出しが一段しかない場合は、元帳用紙に合わせて下さい。他の用紙で印字を合わせますと、元帳の印刷がズレてしまいます。

プリンタパネル



1. まず、普通に印字を行い、印字のズレ具合を確認します。

2. シフトを押しながら、リセットを２回、メニューを１回続けて押します。

3. ホシュメニュー
   ステータスインサツ　　と表示されます。

4. ▼ を７回押します。

※ 手差しの印字位置を変更する場合は、上記画面にて▼を押しますと
   ホシュメニュー　テサシ
   インジイチビチョウセイ　と表示されます。

5. ホシュメニュー　ホッパ
   インジイチビチョウセイ　と表示されます。

6. どの引き出しの印字位置を変更するかを指定します。
▶を１回押した後、▼を押すことで表示が変わります。

ホッパ１	ビチョウセイ	←	一段目の引き出しの調整
ホッパ２	ヒョウジュン	←	二段目の引き出しの調整
ホッパ２	ダイヨウリョウ	←	変更しても変わりません。
ホッパ３	ヒョウジュン	←	三段目の引き出しの調整
ホッパ３	ダイヨウリョウ	←	三段目の引き出しの調整
ＭＰ	ビチョウセイ	←	ＭＰの引き出しの調整

※ホッパ３においては、１段目と３段目の用紙を入れる引き出しの大きさが同じ場合は
ヒョウジュンとなり、３段目のほうが大きい場合は、ダイヨウリョウとなります。

7. 印字位置調整の場所が決定されましたら、▶を押します。
”ＴＭ　xxミリ”と表示されます。
▼ を押しますと、”ＬＭ　xxミリ”と表示されます。

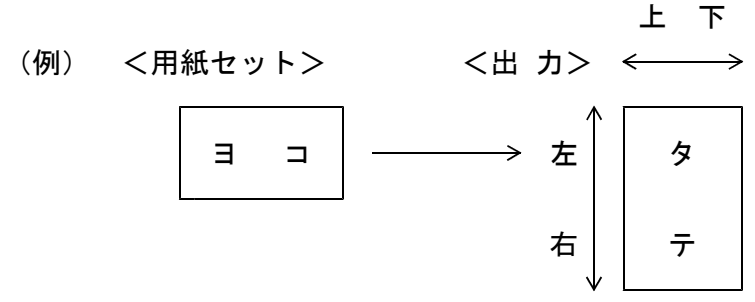
上下の印字位置の調整
”ＬＭ　XXミリ”と表示されます。
設定変更 を押すごとに、０．３ミリずつ印字位置を変更できます。
上に移動させる場合は、－ｘ．ｘミリ
下に移動させる場合は、＋ｘ．ｘミリ

左右の印字位置の調整
”ＴＭ　XXミリ”と表示されます。
設定変更 を押すごとに、０．３ミリずつ印字位置を変更できます。
左に移動させる場合は、－ｘ．ｘミリ
右に移動させる場合は、＋ｘ．ｘミリ

8. 設定値を変更しましたら、印刷可を押します。

9. 印字のズレの確認を行います。
再度、印刷し印字位置が合うまで上記の作業を繰り返します。

※用紙はヨコにしてセットするが出力されるものがタテでは下図のようになります。



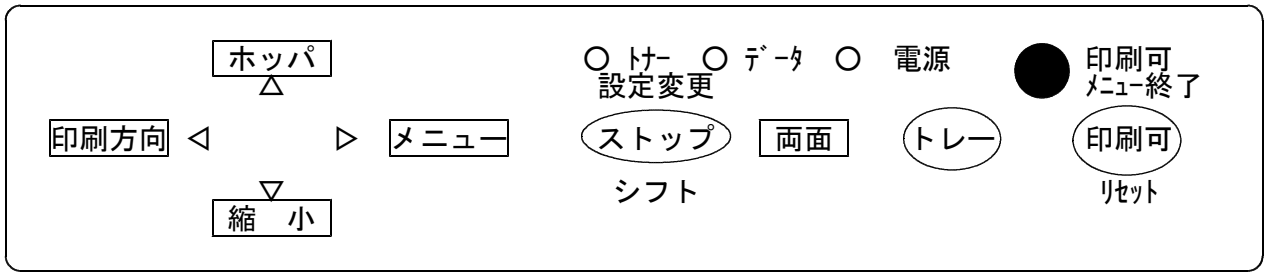
ページプリンタ印字位置変更方法　(NPP800)

● 概要

元帳やその他の用紙の打ち出しの際印字ズレなどを調整する場合は下記の手順で印字位置を変更することができます。
印字位置を変える場合は、どの引き出し（ホッパー）の印字をずらすのかを設定します。
それぞれの引き出しに対して一段一段設定しなければなりませんのでご注意下さい。
（手差し印刷位置変更可能）

※ 引き出しが一段しかない場合は、元帳用紙に合わせて下さい。他の用紙で印字を合わせますと、元帳の印刷がズレてしまいます。

プリンタパネル



1．まず、普通に印字を行い、印字のズレ具合を確認します。

2．[シフト] を押しながら、[リセット] を２回押し、[メニュー] を押します。

3．（ホシュメニュー
プリンタモデル）と表示されます。

4．[▼] を７回押します。

5．（ホシュメニュー　ホッパ
インジイチビチョウセイ）と表示されます。

※ 手差しの印字位置を変更する場合は、上記画面にて [▼] を押しますと、
（ホシュメニュー　トレー
インジイチビチョウセイ）と表示されます。

6．どの引き出しの印字位置を変更するかを指定します。
[▶] を１回押した後、[▼] を押すことで表示が変わります。

ホッパ１	ビチョウセイ	←―	一段目の引き出しの調整
ホッパ２	ヒョウジュン	←―	二段目の引き出しの調整
ホッパ２	ダイヨウリョウ	←―	変更しても変わりません。
ホッパ３	ヒョウジュン	←―	三段目の引き出しの調整
ホッパ３	ダイヨウリョウ	←―	三段目の引き出しの調整

※ホッパ３においては、１段目と３段目の用紙を入れる引き出しの大きさが同じ場合はヒョウジュンとなり、３段目のほうが大きい場合は、ダイヨウリョウとなります。

７．印字位置調整の場所が決定されましたら、▶ を押します。
“ＴＭ　xxミリ”表示されます。
▼ を押しますと、”ＬＭ　xxミリ”と表示されます。

上下の印字位置の調整
“ＴＭ　XXミリ”と表示されます。
設定変更 を押すごとに、０．３ミリずつ印字位置を変更できます。
上に移動させる場合は、－ｘ．ｘミリ
下に移動させる場合は、＋ｘ．ｘミリ

左右の印字位置の調整
“ＬＭ　XXミリ”と表示されます。
設定変更 を押すごとに、０．３ミリずつ印字位置を変更できます。
左に移動させる場合は、－ｘ．ｘミリ
右に移動させる場合は、＋ｘ．ｘミリ

８．設定値を変更しましたら、印刷可 を押します。

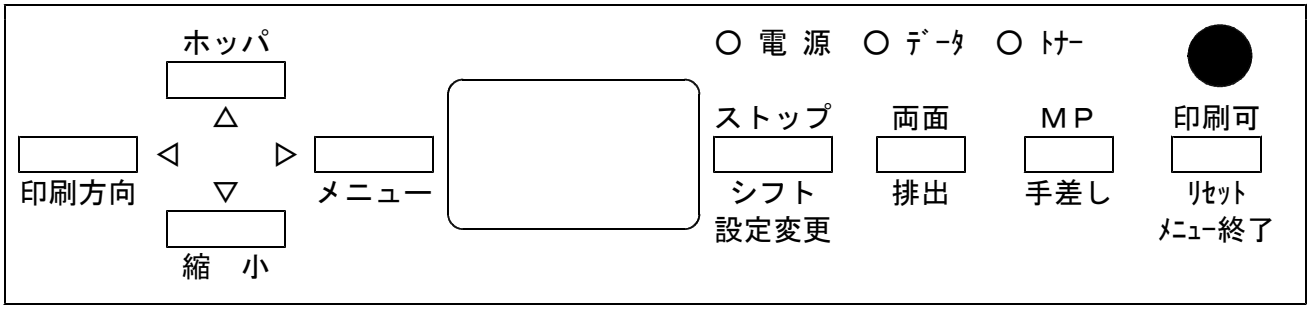
９．再度、用紙を印刷します。
印字のズレを確認し、印字位置が合うまで上記の作業を繰り返します。

手差しからの 印刷方法 (NPP802)

● 概　要

手差しは用紙を複数枚ｾｯﾄできますが、１枚ずつ送る方法です。
ＮＰＰ８０２の場合、１枚出力するたびにホッパの指定に戻ります。出力のつど設定して下さい。
法人税申告書・確定申告書などの官製用紙を出力する際に使用します。

● 手差し方法



1. 印刷可を押してランプを消します。

2. シフトを押しながら手差しを押します

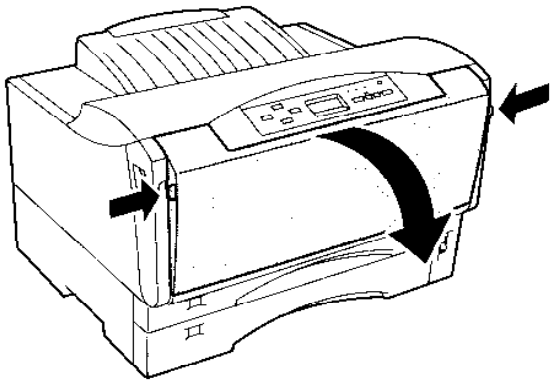
3. さらにシフトを押しながら手差しを押し、用紙のサイズを選択します。

4. 印刷方向を押してﾎﾟｰﾄ（縦長）/ﾗﾝﾄﾞ（横長）を選択します。

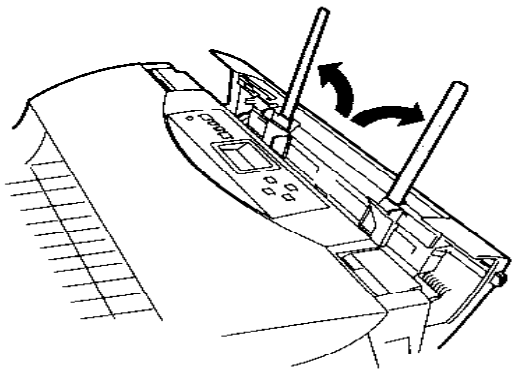
例

テサシ　Ａ４　タテ　ポート

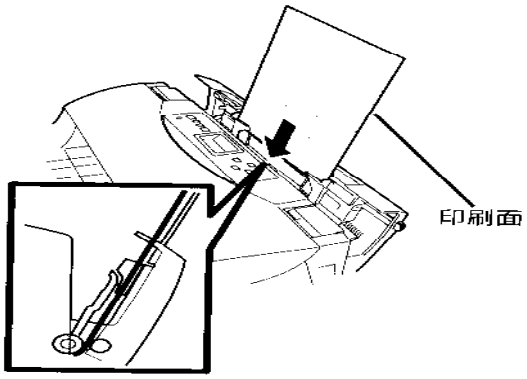
5. フロントカバーを一段階開けます。
※２段階開けるとアラームがなります。

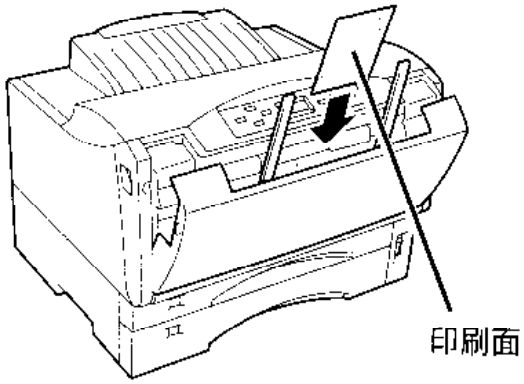


6. 左右の手差し用紙サポートを開きます。

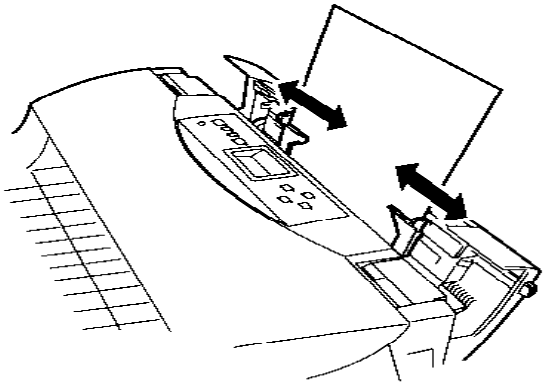


7. 印刷面を下にして用紙をセットします。





8.用紙に用紙ガイドを合わせます。



9.印刷可を押してランプをつけます。

10. 印刷が終了しましたら、用紙サポートをたたみ、フロントカバーを閉じます。

※　1枚出力するたびにホッパーの指定に戻ります。出力のつど設定してください。

トレー（手差し）からの 印刷方法　(NPP800)

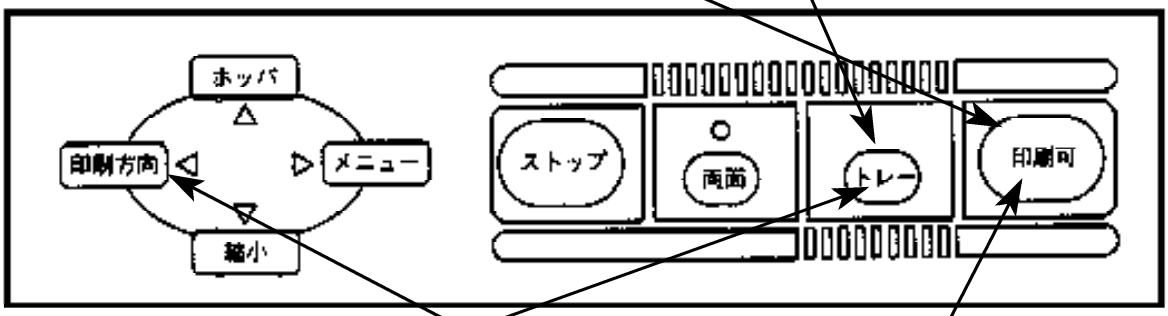
● 概　要

手差しは用紙を複数枚ｾｯﾄできますが、１枚ずつ送る方法です。
ＮＰＰ８００の場合、１枚出力するたびにホッパの指定に戻ります。出力のつど設定して下さい。
法人税申告書・確定申告書などの官製用紙を出力する際に使用します。

● 手差し方法

1. ホッパからトレーに変更します。
   印刷可 を押してランプを消します。

2. トレー を押します。



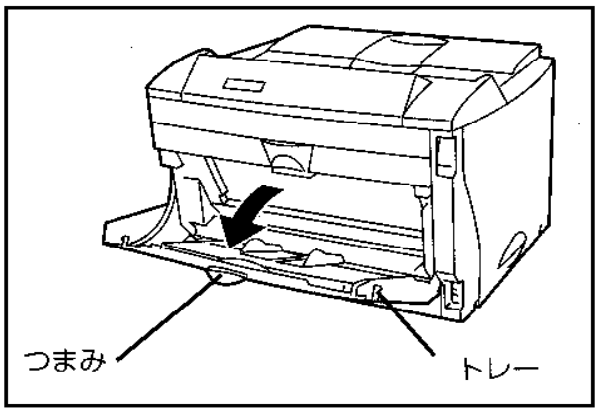
3. さらに トレー を押して、印刷るす
   用紙のサイズを選択します。

4. 印刷方向 を押してﾎﾟｰﾄ/ﾗﾝﾄﾞ を選択します。

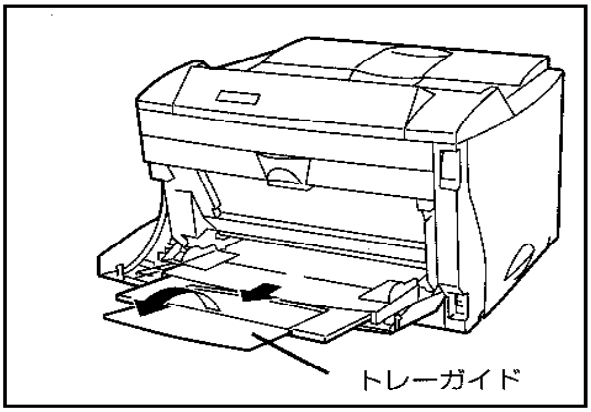
例
トレー　Ａ４　タテ　ポート

5. 印刷可 を押してランプをつけます。

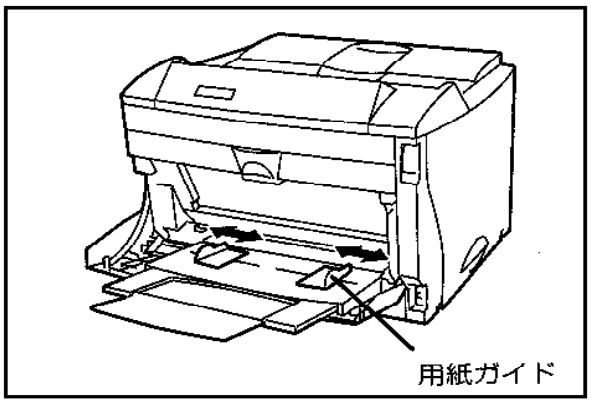
6.トレーを開きます。



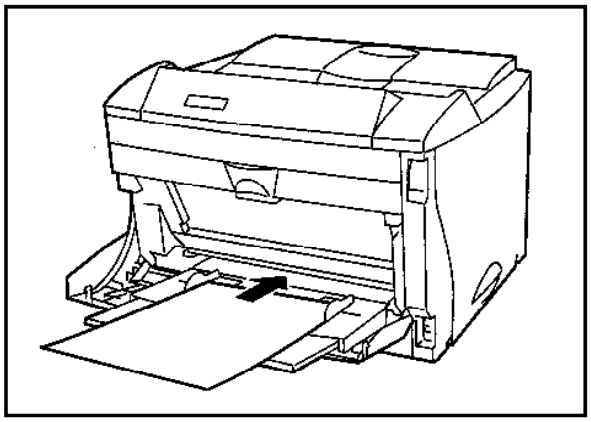
7. トレーガイドを手前に伸ばし、さらに1段手前に開きます。



8. 印刷したい用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



9. 印刷したい面を下にして、用紙を用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入します。



10. 印刷が終了したら、トレーガイドをたたみさらに中へ収めてから閉じます。

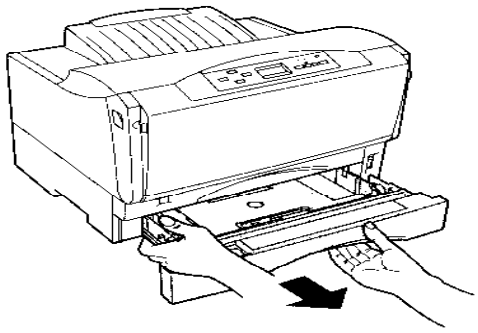
11. 印刷可 を押してランプを消した後、ホッパ を押し、再び 印刷可 を押してランプをつけます。

※　1枚出力するたびにホッパーの指定に戻ります。出力のつど設定してください。

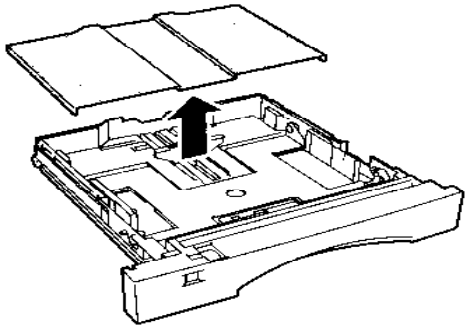
引き出し(ホッパ)の用紙サイズ変更方法 (NPP802)

● 用紙サイズの変更方法

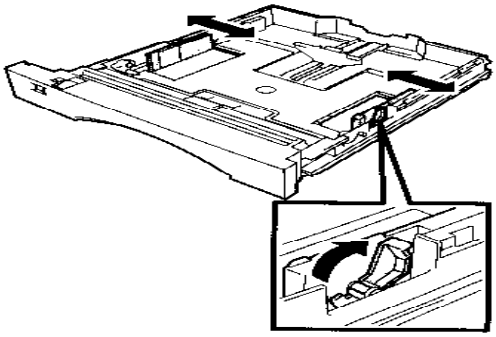
1. 用紙カセットをプリンタから引き出します。



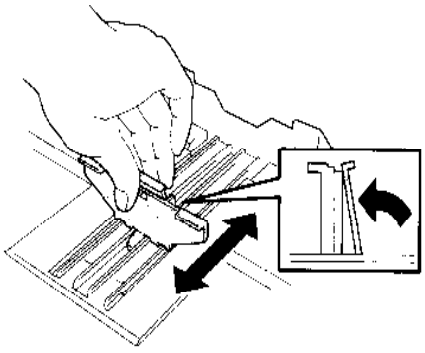
2. カセットカバーを取り外します。



3. サイドガイドのつまみを引き上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせます。

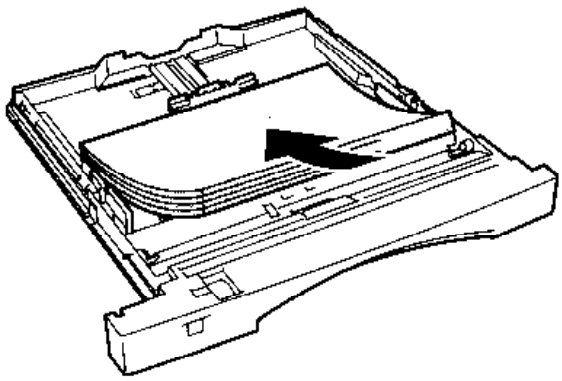


4. エンドガイドの中央部をつまみながらスライドさせます。



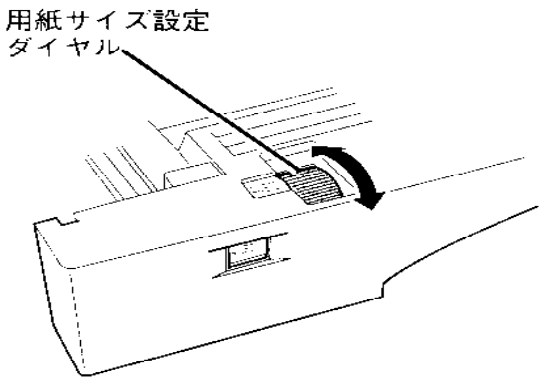
5. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

※元帳は穴を手前にしてセットします。

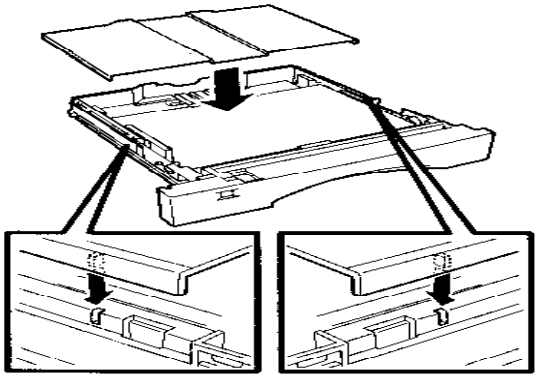


6. 用紙サイズ設定ダイヤルを、セットした用紙サイズに合わせます。

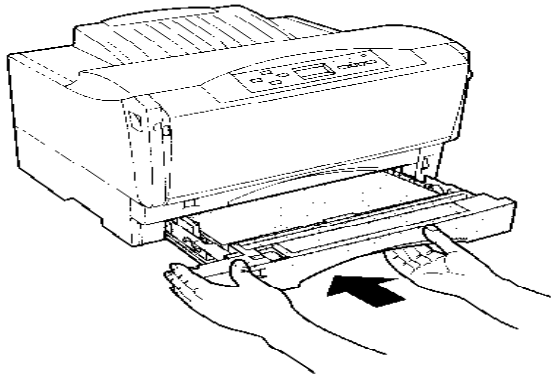
※こちらで、プリンタが用紙サイズを認識しますので、必ず行って下さい。



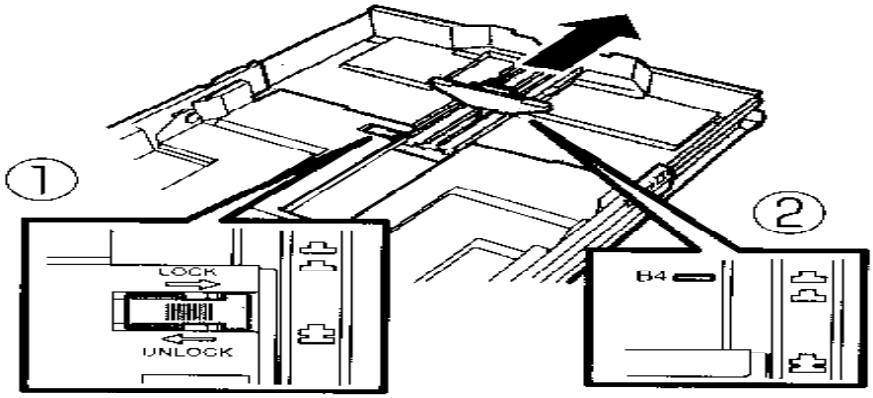
7. カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて、取り付けます。



8. 用紙カセットをプリンタ内に差し込んで下さい。



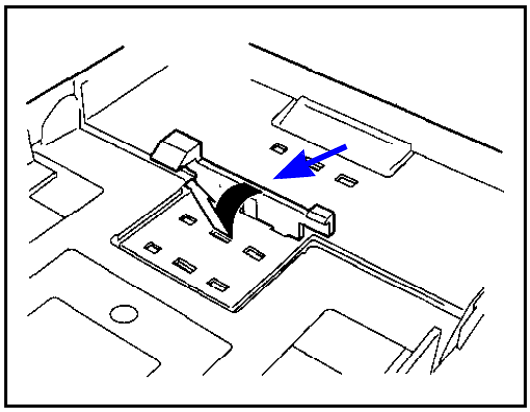
● Ａ３、Ｂ４サイズをセットするときは、カセットロックを”ＵＮＬＯＣＫ”にし、用紙カセットを完全に引き伸ばし、カセットロックを”ＬＯＣＫ”に戻します。
その後、エンドガイドをＡ３、Ｂ４に合わせます。



引き出し(ホッパ)の用紙サイズ変更方法　(NPP800)

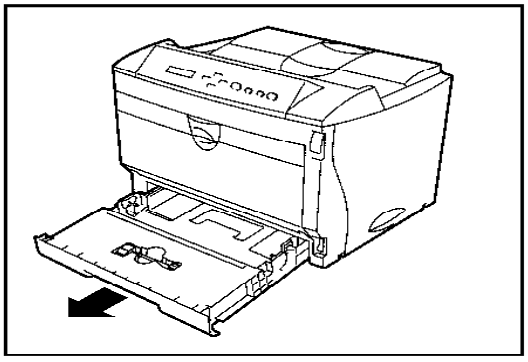
●エンドガイドセットの注意点

エンドガイドは非常に壊れやすいので、つまみ中央を指で押しながら、はずして下さい。
(セットして下さい。)

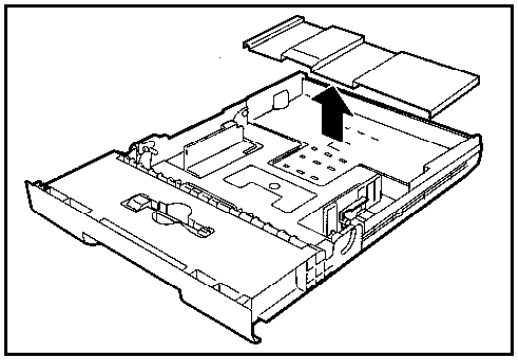


● 用紙サイズの変更方法

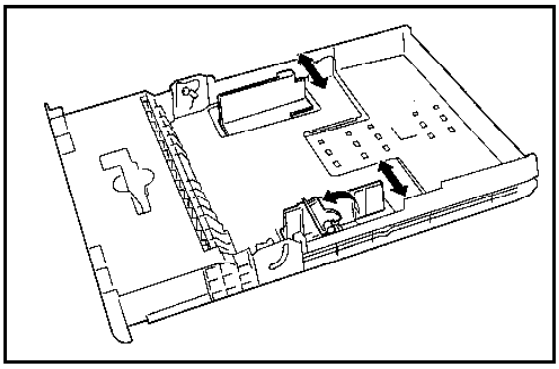
1. 用紙カセットをプリンタから引き出します。



2. カセットカバーを取り外します。

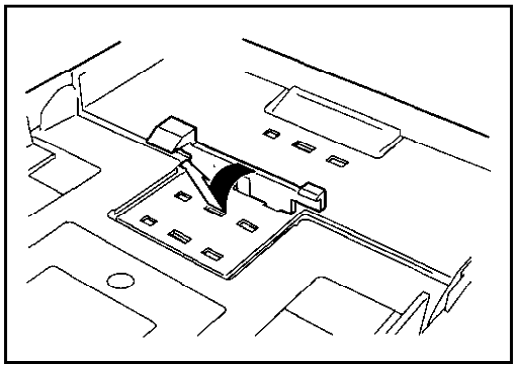


3. サイドガイドのつまみを引き上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせます。

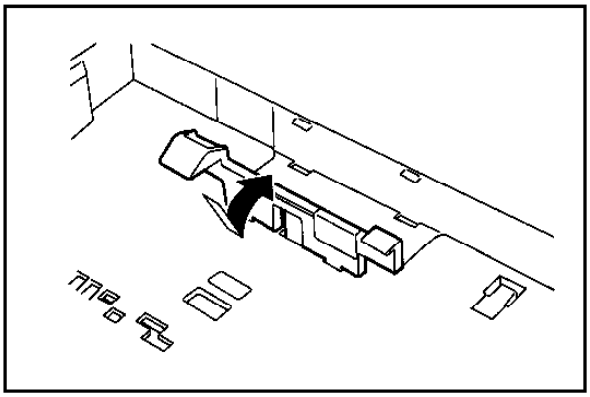


4. エンドガイドのつまみ中央部を押しながら手前に倒し、上に引き抜きます。

※ 壊れやすいので注意！



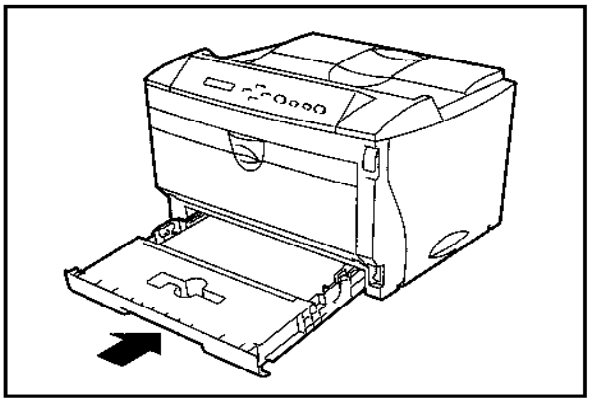
5. 使用する用紙サイズの溝に合わせてエンドガイドをはめ込みます。



6. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

※Ｂ４、Ａ３用紙をセットするときは、エンドガイドをはめ込む必要はありません。
用紙カセット手前のエンドガイド入れに入れて保管して下さい。

7. 用紙カセットをプリンタ内に差し込んで下さい。



● Ａ３、Ｂ４サイズをセットするときは、つまみを右に動かし用紙カセットを引き伸ばして使用して下さい。